

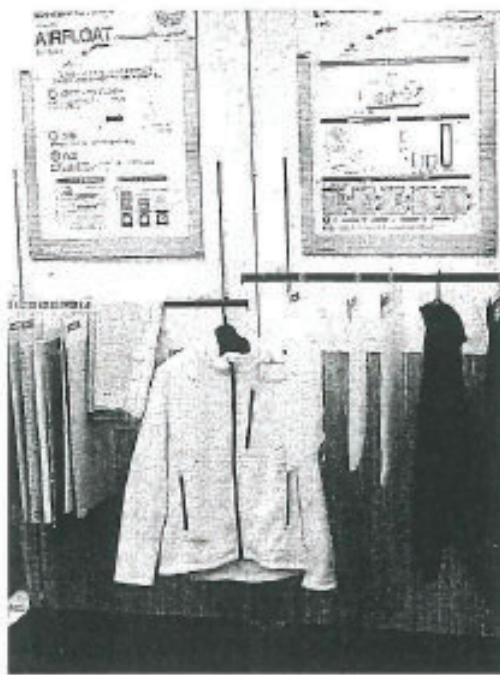
日本エクステラン工業

再度フリース掘り起す

際立つ軽さ・柔らかさ

日本エクステラン工業 欲を示す。

は、アクリル「エクストラ」による衣料素材の開発を改めて強化しており、バルキー系「エアフロート」で開発したフリース（写真）の拡販に意



この間、ポリエステルに浸食された用途、アイテムでの巻き返しを目的にフリースをターゲットとする商品開発に取り組んできた。先に東西で開

催したグループ繊維総合展にエアフロートによるフリースを出展したところ、アクリルならではの軽さ、柔らかさが注目された（住谷龍明取締役エクステラン事業部長）。

エアフロートは従来素材よりもポリウム感、軽さを際立たせたマイクロアクリルによるバルキー系。総合展にはアクリルの発色性を強調するため鮮やかな黄色の製品で出展した。ポリエステル製よりも20%前後、軽く仕上げられたと言う。

19秋冬向けの企画で採用したいとの要望が寄せられていると話し、同シーズンからのテスト販売を目指し、国内外でモノ作りにおけるスペック確立を進めている。

ウール価格の高止まりに伴いセーターなどの用

途でアクリル混率を引き上げ、コストアップを抑えようとする傾向が強まっている。18秋冬でセーター向け販売が好調だったことから、19秋冬に向けてもSPAや小売りへのアプローチを強化しセーター向けの拡販を目指す。